

日本一

女性が働きやすいまちを目指して

令和6年5月30日

酒田市長 矢口 明子





- 山形県の日本海側に位置
- 人口 約 9 万 5 千人
- 面積 約 6 0 0 km²
- アクセス

JR	東京	上越新幹線	新潟	酒田 (約 4 時間)
JR	東京	山形新幹線	新庄	酒田 (約 4 時間)
航空機	羽田空港	ANA	庄内空港	(約 1 時間)



【共働き率】

山形県：59.9% ※全国第2位

<R2国勢調査／総務省>

【育児をしながら働く女性の割合】

山形県：87.2% ※全国第2位

<R4年度 就業構造基本調査／総務省>

【1日当たりの仕事・家事等の平均所要時間】

平日 仕事 女性：6時間41分 男性：7時間58分

家事 女性：3時間22分 男性：1時間7分

育児 女性：1時間40分 男性：18分

<令和元年度ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画及び
女性活躍に関する県民意識・企業実態調査／山形県>



【人口】

94,902人 (R6.4.30現在 住民基本台帳より)

◆H22年：111,151人、H27年：106,244人、R2：100,273人 (各年国勢調査より)

※H22⇒R2の10年間で△10,878人

10年間で約1割減少

※H27⇒R2の5年間で△5,971人

【雇用情勢について】 (R6.3月分 ハローワーク酒田公表データより)

◆有効求人倍率 1.48倍 (山形県の求人倍率1.29倍)

◆R6.3月新規高卒者の就職状況

県内133人、県外63人 (県内就職率 計67.9%)

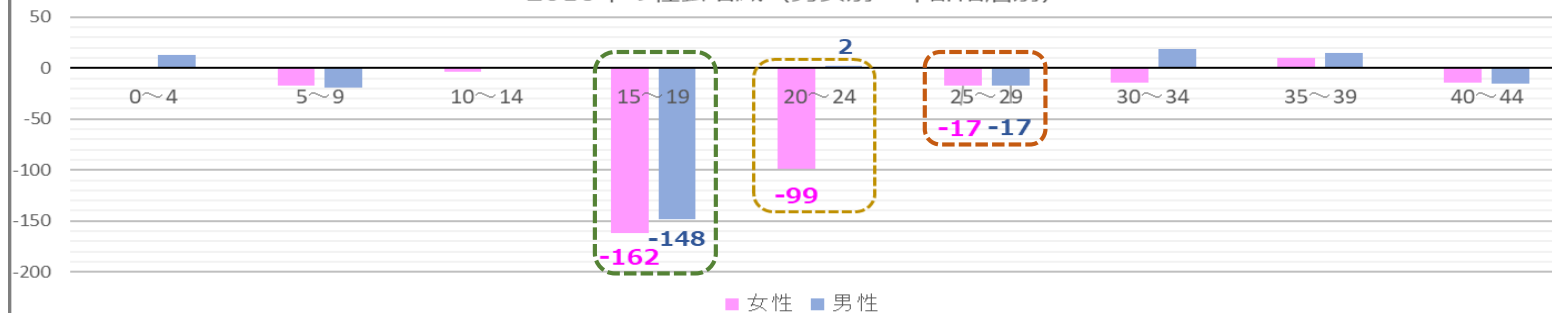
※コロナ禍前のR2.3月卒は、県内202人、県外159人

(県内就職率56%)



本市の現状（社会増減）

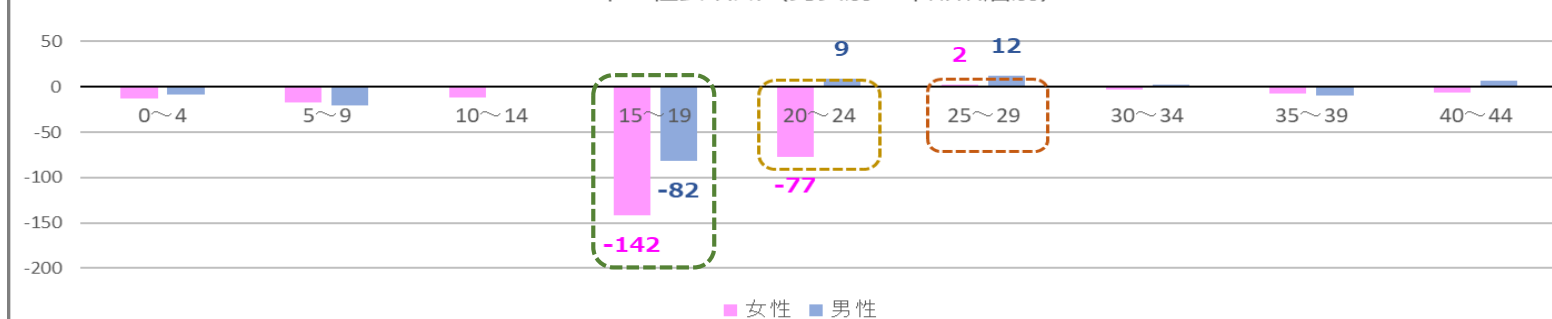
2018年の社会増減（男女別・年齢階層別）



2020年の社会増減（男女別・年齢階層別）



2022年の社会増減（男女別・年齢階層別）



若い女性の
流出が多い



地方都市の人口減少の最大の要因

- 若い女性（＞男性）が都会へ流出している。・・・社会減
- その結果、若い女性・男性の婚姻数が減少している。
- その結果、出生数が減少している。・・・自然減

若い女性の流出の最大の要因

- 自身の成長を感じられる仕事を選べない。所得水準が低い（「所得水準」と「若い女性の流出率」には相関関係あり）。
- 伝統的な性別役割分担意識が強く、自由に生きられない。



平成29年度市民フォーラムで 「日本一女性が働きやすいまち」 を目指す宣言を行いました



市民フォーラムでは、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組んで行くことを宣言しました。

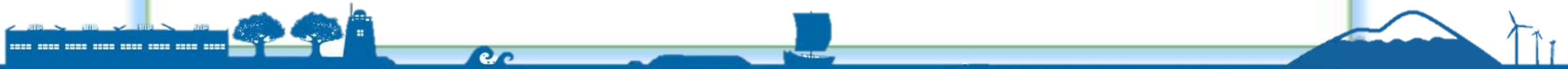


日本一女性が働きやすいまちへ

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。

酒田市は、自らの意思によって働くまたは働こうとする女性が、その個性と能力を十分に発揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組みを進めていくことをここに宣言します。

平成29年10月1日



酒田市では、「日本一女性が働きやすいまち」を目指し、下記3つのテーマを柱に女性活躍に取り組んでいます。

(1) 働きやすい職場環境整備

目標	事業主への意識啓発
	働きやすい職場環境の増加 (女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定済企業の増加)

(2) 家庭との両立支援

目標	特別保育等子育て支援サービスの拡充
	保育需要の多様化への対応
	家庭における意識啓発 (ジェンダーを日頃意識していない層への啓発)

(3) 女性のチャレンジ支援

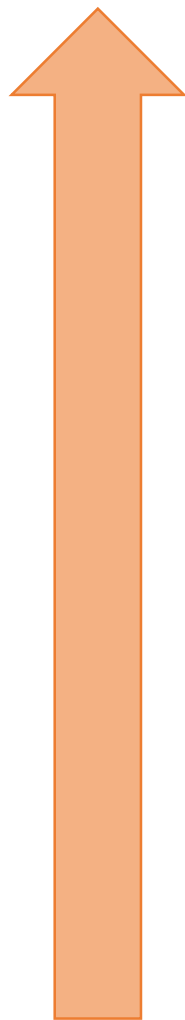
目標	多様な働き方ができる環境整備
	女性のスキルアップや再チャレンジへの不安解消



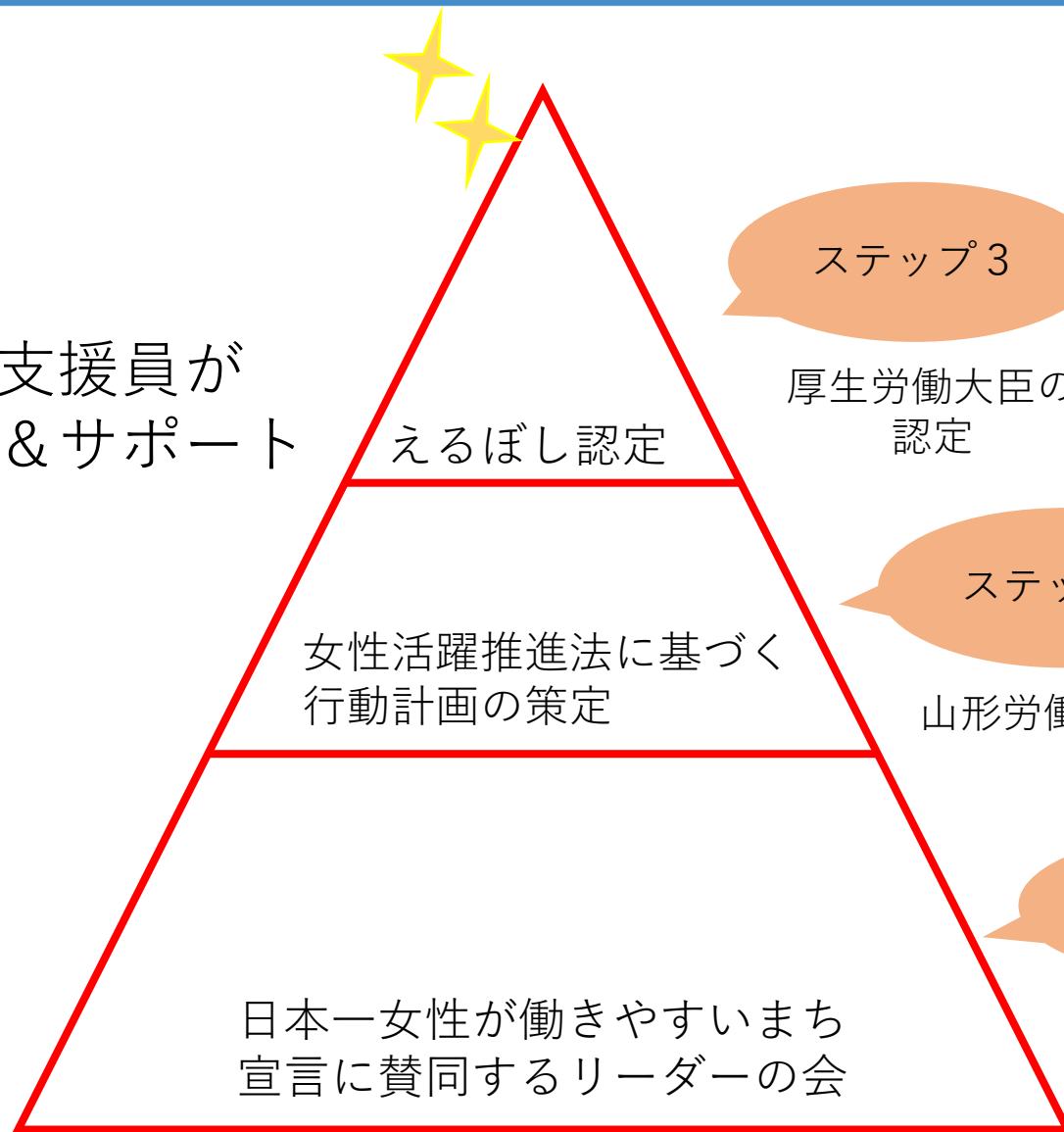
(1) 働きやすい職場環境整備



ステップアップ



女性活躍支援員が
企業訪問 & サポート



日本一女性が働きやすいまち宣言に 賛同するリーダーの会

4 月末現在

1 3 1 社



	令和 3 年度 R4.3.31時点	令和 4 年度 R5.3.31時点	令和 5 年度 R6.3.31時点
賛同企業数	4 7 社	7 3 社	1 2 9 社

+ 2 6 社

+ 5 6 社



- ・日本一女性が働きやすいまち宣言
に賛同するリーダーの会

会員数 **131** 社（令和6年4月末現在）



- ・えるぼし認定企業 **7** 社（令和6年3月末現在）

認定段階：えるぼし3段階目 6社、えるぼし2段階目 1社

業種：製造業4社、建設業1社、不動産業1社、医療1社



県内トップ！

全国でも第2位！（東京23区、県庁所在地、政令指定都市除く）



(2) 家庭との両立支援

“家事・育児シェアが見てわかるシート”

～自分たちの生活スタイルに合った分担表を考えてみよう～

ステップ1

家事・育児の現状を把握し
理想のシェアを見つけよう！

普段の家事分担をチェックしてみよう

結果について家族で話してみよう

【チェック】

- ☐話し合い、協力、分担している。
- ☐主に自分が担っている。
- ☐主ではないが、積極的に関わっている。
- ☐頼まれたことはやっている。
- ☐関わっていない。

・主に自分が担っているけど、
充実している（つらくない）

OK!

- ・自分だけ大変だなあ（忙しい、つらい、疲れる）
- ・もっと関わらなければとは思っているけど…

家事シェアで解決!

「家事や育児は主に
女性がやるもの」
というような、
無意識に思い込ん
でいる「性別によ
る役割分担意識」
はないかな？



それぞれ分担している
家事に○を付けてみよう

チェック！
「現状を把握しよう」

チャレンジ！
「理想のシェアを見つけよう」

家事の名称	自分	パートナー（ ）
買物		
朝食を作る		
朝食を片付ける		
お昼の弁当を作る		
夕食を作る		
夕食を片付ける		
リビング・寝室		
風呂		
洗面所		
トイレ		
玄関		
敷地		
洗う・干す		
取り込む・たたむ		
アイロン掛け		
着替え		
送り		
迎え		
お風呂		
通院・看護		
一緒に遊ぶ		
保育園や学校の準備		
保護者会やPTA		
宿題（勉強）をみる		
ゴミ出し		
生活用品の買物・補充		
電球交換等メンテナンス		
除雪		
家計管理		
地域活動（自治会等）		

改善案
(これからは)

ステップ2

家事シェアを実現する
大事なポイント

- ☐日頃から家庭内で
「お互いを尊重したコミュニケーション」を大切にしよう。
- ☐それぞれの家庭に合ったやり方を話し合おう。
▶ちゃんと話し合いができる関係が本当に大事。
- ☐手分けして、できるところからやってみよう。
▶できないこともある。助け合いの精神を忘れずに。
- ☐否定よりもアドバイスをしよう。
▶ダメ出しはしない。相手への気遣いを忘れずに。
- ☐「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えよう。
▶お互いの家事を褒めちぎろう。「うわ～嬉しい」など。
- ☐家事分担表はメンテナンスしていい。
▶その家事がキツイと思ったら弱音を吐こう。
完璧を求めすぎないこと。見直ししよう。

妻に分担が偏っている場合の事前準備（ヒント）

- 夫や家族に分担してもらいたい家事は何かを考える。
- 分担してもらいたい家事の内容、頻度、かかる時間を具体的に書いてみる。詳しいほどベター。
- 夫や家族はその家事についてどう考えているか。（得意？苦手？交換条件があればやってくれる？など）
- 自分が譲歩できるポイントはどこにあるのか。（優先順位を決めておく、週2からスタートするなど）

- ・家族の生活が楽しく快適になります
- ・家族の会話や思いやりが生まれます
- ・日々の暮らしにゆとりが生まれます
- ・自分の事として一生役に立ちます

new

- ・家事シェア推進月間を設定し、市民参加型の家事シェアチェック宣言による意識啓発を行う。
- ・参加者の中から抽選で**家事代行サービスお試しクーポン**を交付する。

家事シェアチェックシート

(3) 女性のチャレンジ支援

酒田市産業振興まちづくりセンターの取組み

背景

【プラス】

①女性の就業率が高い

【マイナスかも】

②世帯収入が低い

③硬直的な働き方（事業者マインド）

④三世代同居による硬直的な生活スタイル

目的

【市内女性】

①新しい・多様な働き方の推進

②副業による収入アップ

【市内事業者】

ITツール活用・課題解決

女性 育成

スキル獲得

IT基礎
RPA
SNS発信など

仕事獲得 & 事業者の課題解決

仕事獲得

市外

リモート環境で可能な仕事

市内

中小・小規模企業のサポート

①SNS発信

②HPメンテ

③経理・顧客管理

(参考) IT関連企業の立地状況

◆令和3年11月～
パイルシェイプスルパン(株)様



本市出身者が神奈川県で起業し、「ICTで住みやすい街づくり」に寄与するため故郷の本市に移転

◆令和4年3月～
(株)SIG様



R6年4月には50名規模の第2オフィス「酒田開発センター」を設立

◆令和6年4月～
PLCパートナーズ(株)様



卒業後地元に住みながら就業したい学生ニーズに対応した新しい採用プログラムを酒田市と共同で推進

◆令和5年6月～
(株)サイダス様



働きがいをつくる人事DXの開発・販売を行う当該企業と連携し、行政の人事制度改革やIT人材育成に向けた取組を検討中

DX推進
Why? アクセス良
女性も活躍



日本一女性が働きやすいまちを目指す！

酒田市は、平成29年10月1日に「日本一女性が働きやすいまち」を目指すことを宣言。宣言文：『少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。酒田市は、自らの意思によって働くまたは働こうとする女性が、その個性と能力を十分に発揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組みを進めていくことをここに宣言します。』この宣言の背景には、自分の個性や力を発揮して、お互くわくが生み出されるまちあったから。誰もが自分らしく働きやすいまちづくりから始めよう。職場では、現状を客観的に捉えてみよう。性別に関わらず、自分の可能性を信じてチャレンジしてみよう。そして家庭での役割分担、地域との関わり方などを見つめ直していけば、きっと、このまちは、もっともっと自分らしく働くことができるようになるはず。「女性が働きやすいまち」ということはつまり、「みんなが働きやすい」ということだと思う。



ご清聴
ありがとうございました。

